課かい名	救命課

救命課

基礎情報						実施計画	平成２１年度評価									平成２２年度計画							今後の事業展開													
事務事業				対象（顧客）	事業区分	第５次実施計画	21年度所管課かい	実績						事後評価		活動			予算内訳（千円）		22年度業務計画における課の重点事業		必要性				事業の方向性	事業手法						事業の改善提案		予算の方向性
事業No.	総括フラグ	事務事業名	事務事業の目的・成果			実施計画事業名		活動	活動量・サービス量の達成状況			決算内訳（千円）		事務事業の目的に対する成果の状況	21年度の取組に対する分析	活動	活動量・サービス量		当該事務事業全体の予算額（合計）	活動ごとの予算額	優先順位	重点事業の名称	①目的達成	②ニーズ	③成果	④継続性		①人件費減	②事務の必要性	③民間活用	④市民協働	⑤その他	手法の変更の有無	改善時期（年度）	改善の内容	
									活動指標の名称	目標値	実績値	当該事務事業全体の決算額（合計） 12,222	活動ごとの決算額 12,222				活動指標の名称	目標値	当該事務事業全体の予算額（合計） 13,721	活動ごとの予算額 13,721																
1	総	救急業務及び救助業務に係る施策の調査・研究	救急救助業務実施にあたって、職員の安全と部隊の遂行能力に必要な知識・技術の向上を目指す。	救急隊員・救助隊員	義務		救命課							国、県、地区等からの報告、依頼に対し、遅滞なく対応できた。	A												現状維持						なし			予算なし
1		救急業務及び救助業務に係る施策の調査・研究					救命課	国、県等から依頼のあった事故事例等の調査・研究	国、県等からの調査依頼等に対する対応件数と対応率	調査等依頼のあった件数を目標値とした	１６件 １００％					国、県等から報告のあった事故事例の調査研究	国、県等からの調査依頼等に対する対応件数と対応率	調査等依頼のあった件数を目標値とする										不可	必要	不可	不可	無	なし			予算なし
2	総	救急業務及び救助業務の基本計画策定及び見直し	救急救助業務実施にあたって、職員の活動実施基準を作成し現場活動の統一を図る。	救急隊員・救助隊員	義務		救命課							２１年度は改正事項の該当なし	B												現状維持						なし			予算なし
2		救急業務及び救助業務の基本計画策定及び見直し					救命課	救急活動実施基本計画、救助活動実施基本計画の見直し	救急活動実施基本計画、救助活動実施基本計画の見直し	平成２２年３月末までに見直しの必要があった件数	該当事項なし					救急活動実施基本計画、救助活動実施基本計画の見直し	救急活動実施基本計画、救助活動実施基本計画の見直し	平成２３年３月末までに見直しの必要があった件数										不可	必要	不可	不可	無	なし			予算なし
3	総	救急救命士の養成及び育成	救急救命士の養成及び救急救命士の知識・技術向上のため	救急隊員・救急救命士	義務		救命課					6,572		救急救命士の継続的な養成及び就業後の救命士に対しての再教育が予定どおり実施でき、今後も成果が見込める。	A				6,755		1	救急救命士の養成計画の策定					現状維持						有り			維持
3		救急救命士の養成及び育成					救命課	救急救命士の継続的な養成（人選、派遣）	養成人数	２人	２人		4,330			救急救命士の継続的な養成（人選、派遣）	養成人数	２人		4,293	1	救急救命士の養成計画の策定						不可	必要	不可	不可	有	有り	23	・救急救命士の養成計画を策定し、養成人数を調整する。 ・有資格者の採用を検討する。	維持
3		救急救命士の養成及び育成					救命課	救急救命士就業後研修への派遣（人選、決定）	派遣人数	１２人	１２人		720			救急救命士就業後研修への派遣（人選、決定）	派遣人数	１４人		840	1	救急救命士の養成計画の策定						不可	必要	不可	不可	無	なし			維持
3		救急救命士の養成及び育成					救命課	救急救命士就業前研修への派遣（人選、派遣）	派遣人数	２人	２人		200			救急救命士就業前研修への派遣（人選、派遣）	派遣人数	３人		300	1	救急救命士の養成計画の策定						不可	必要	不可	不可	無	なし			維持
3		救急救命士の養成及び育成					救命課	救急救命士気管挿管、薬剤投与研修への派遣（人選、派遣）	派遣人数	計４人	計４人		1,060			救急救命士気管挿管、薬剤投与研修への派遣（人選、派遣）	派遣人数	計４人		1,060	1	救急救命士の養成計画の策定						不可	必要	不可	不可	無	なし			維持
3		救急救命士の養成及び育成					救命課	救命士が活動する際の賠償保険加入/感染性廃棄物の処理委託	救急救命士賠償責任保険の加入人数/感染性廃棄物の処理委託件数	保険は全救命士35人/委託件数60件	３５人 ６０件		262			救命士が活動する際の賠償保険加入/感染性廃棄物の処理委託	救急救命士賠償責任保険の加入人数/感染性廃棄物の処理委託件数	保険は全救命士37人/委託件数60件		262								不可	必要	不可	不可	無	なし			維持
4	総	救急隊員及び救助隊員の教育訓練	救急隊員の知識、技術の向上を図って行くと共に、救助隊員の安全管理能力と体力、救助技術、精神力の向上を図る。	救急隊員・救助隊員	義務		救命課					65		適切に訓練等の業務を遂行しており、成果が出ている。	A				161							現状維持						なし			維持
4		救急隊員及び救助隊員の教育訓練					救命課	救急、救助隊員の各種訓練を計画、実施する	隊ごとに個々に訓練計画を策定し、訓練を実施した実施率	１００％	１００％					救急、救助隊員の各種訓練を計画、実施する	隊ごとに個々に訓練計画を策定し、訓練を実施した実施率	１００％		96							不可	必要	不可	不可	無	なし			維持
4		救急隊員及び救助隊員の教育訓練					救命課	湘南地区、県大会、関東大会、全国大会等への職員派遣	派遣人数	３０人	延べ４２人を各指導会等へ派遣		65			湘南地区、県大会、関東大会、全国大会等への職員派遣	派遣人数	３０人		65							不可	必要	不可	不可	無	なし			維持
5	総	救急業務及び救助業務の研究・指導	救急救助業務実施について、国からの通知等に対応し連絡調整を行うこととする。	救急隊員・救助隊員	義務		救命課							適切に事務を行っており、対応ができている。	A												現状維持						なし			予算なし
5		救急業務及び救助業務の研究・指導					救命課	国や県からの指針に基づいた指導等に対しての調整、改善	指導等に対して対応した件数と対応率	対応指導件数/１００％	該当事項なし					国や県からの指針に基づいた指導等に対しての調整、改善	指導に対して対応した件数と対応率	対応指導件数/１００％										不可	必要	不可	不可	無	なし			予算なし

課かい名	救命課

救命課

基礎情報						実施計画	平成２１年度評価									平成２２年度計画							今後の事業展開													
事務事業				対象（顧客）	事業区分	第５次実施計画		実績						事後評価		活動			予算内訳（千円）				必要性				事業の方向性	事業手法						事業の改善提案		予算の方向性
								活動	活動量・サービス量の達成状況			決算内訳（千円）					活動量・サービス量				22年度業務計画における課の重点事業															
事業No.	総括フラグ	事務事業名	事務事業の目的・成果			実施計画事業名	21年度所管課かい		活動指標の名称	目標値	実績値	当該事務事業全体の決算額（合計）12,222	活動ごとの決算額 12,222	事務事業の目的に対する成果の状況	21年度の取組に対する分析		活動指標の名称	目標値	当該事務事業全体の予算額（合計）13,721	活動ごとの予算額 13,721	優先順位	重点事業の名称	①目的達成	②ニーズ	③成果	④継続性		①人件費減	②事業の必要性	③民間活用	④市民協働	⑤その他	手法の変更の有無	改善時期（年度）	改善の内容	
6	総	救急・救助資機材の整備及び運用	救急救助業務実施にあたっての調査研究を行い、ＡＥＤでの早期除細動実施により、救命率の向上を目指す。	消防職員・事業所職員・市民	政策		救命課					2,814		・消耗品の定期交換を要するAEDについては、整備が完了している。 ・事業所等の個別訪問に関しては、目標を達成できなかった。	B				3,550		3	救急・救助資機材の整備及び運用（ＡＥＤ）の整備	未	高	高	高	現状維持						なし			維持
6		救急・救助資機材の整備及び運用					救命課	自動体外式除細動器（AED）の維持・管理	ＡＥＤのバッテリー及びパッドの定期的な交換	全設置台数のうちバッテリー交換が必要な台数/交換パッド枚数	６台/１６６組		2,098			自動体外式除細動器（AED）の維持・管理	全設置台数のうちバッテリー交換が必要な台数/交換パッド組数	２９台/１７５組		3,550	3	救急・救助資機材の整備及び運用（ＡＥＤ）の整備						済	必要	不可	不可	無	なし			維持
6		救急・救助資機材の整備及び運用					救命課	民間事業所に対しての自動体外式除細動器（AED）の普及啓発活動（緊急	事業所を戸別訪問しアンケート等でリサーチ	６００～７００事業所	１５０事業所		716																								
7	総	湘南地区メディカルコントロール協議会に関する事業	救急搬送後、処置内容を医師に検証してもらい職員にフィードバックさせ、以後の現場活動に反映させる。	救急隊員・救急救命士	義務		救命課					774		すべての教育講座、各種セミナーへの派遣が実施できた。救急検証作業、救命行為指示要請により、円滑な業務の実施ができた。	A				920		4	湘南地区メディカルコントロール協議会に関する事業					現状維持						なし			維持
7		湘南地区メディカルコントロール協議会に関する事業					救命課	湘南地区メディカルコントロール協議会が開催する教育研修への派遣等	派遣回数	１６回	１５回					湘南地区メディカルコントロール協議会が開催する教育研修への派遣等	派遣回数	年１６回			4	湘南地区メディカルコントロール協議会に関する事業						不可	必要	不可	不可	無	なし			予算なし
7		湘南地区メディカルコントロール協議会に関する事業					救命課	各種事後検証作業・検証票印刷を実施	事後検証作業への派遣回数	１２回	１２回（１６０症例）		339			各種事後検証作業・検証票印刷を実施	事後検証作業への派遣回数	年１２回		440	4	湘南地区メディカルコントロール協議会に関する事業						不可	必要	不可	不可	無	なし			維持
7		湘南地区メディカルコントロール協議会に関する事業					救命課	医師からの指示に対する特定行為の実施	現場での救命行為への医師の指示回数	救命行為全件数	全件数（１４５件）		435			医師からの指示に対する特定行為の実施	現場での救命行為への医師の指示回数	救命行為全件数		480	4	湘南地区メディカルコントロール協議会に関する事業						不可	必要	不可	不可	無	なし			維持
8	総	救命講習会に係る事務	救急現場で一般市民の行う応急手当が傷病者の生命、予後に大きな影響を与える事を広め、普及協力者を育成する。	市内在住在勤者・普及員・指導員	政策	救命講習会拡大事業	救命課					1,278		新型インフルエンザによる中止があったが、定期講習会及び随時申し込みの講習会に対して１００％実施することができ、成果が出ている。	A				1,600		2	救命講習会拡大事業	未	高	高	高	現状維持						なし			維持
8		救命講習会に係る事務					救命課	応急手当講習会の実施	講習会実施回数	随時の申し込みに対する実施回数	５２回					応急手当講習会の実施	講習会実施回数	年５０回以上			2	救命講習会拡大事業						済	必要	不可	不可	無	なし			予算なし
8		救命講習会に係る事務					救命課	普通救命講習会の実施	講習会実施回数	年１１０回以上（随時の申し込み含む）	１０１回					普通救命講習会の実施	講習会実施回数	年１１０回以上			2	救命講習会拡大事業						済	必要	不可	不可	無	なし			予算なし
8		救命講習会に係る事務					救命課	上級救命講習会の実施	実施回数（随時含む）	年３回以上	４回実施					上級救命講習会の実施	実施回数（随時含む）	年３回以上			2	救命講習会拡大事業						済	必要	不可	不可	無	なし			予算なし
8		救命講習会に係る事務					救命課	応急手当普及員講習会を実施	実施回数	年３回	４回実施					応急手当普及員講習会を実施	実施回数	年３回			2	救命講習会拡大事業						不可	必要	不可	不可	無	なし			予算なし
8		救命講習会に係る事務					救命課	応急手当普及員に対する研修会を実施	実施回数	年１５回	15回実施					応急手当普及員に対する研修会を実施	実施回数	年１５回			2	救命講習会拡大事業						不可	必要	不可	不可	無	なし			予算なし
8		救命講習会に係る事務					救命課	応急手当等の講習会資器材の管理	資器材の整備率	１００％	１００％整備済み		1,278			応急手当等の講習会資器材の管理	資器材の整備率	１００％		1,600	2	救命講習会拡大事業						不可	必要	不可	不可	無	なし			維持

課かい名	救命課

救命課

基礎情報 事務事業 事業No.	総括フラグ	事務事業名	事務事業の目的・成果	対象（顧客）	事業区分	実施計画 第５次実施計画 実施計画事業名	平成２１年度評価 21年度所管課かい	実績 活動 活動	活動量・サービス量の達成状況 活動指標の名称	目標値	実績値	決算内訳（千円） 当該事務事業全体の決算額（合計） 12,222	活動ごとの決算額 12,222	事後評価 事務事業の目的に対する成果の状況	21年度の取組に対する分析	平成２２年度計画 活動 活動	活動量・サービス量 活動指標の名称	目標値	予算内訳（千円） 当該事務事業全体の予算額（合計） 13,721	活動ごとの予算額 13,721	22年度業務計画における課の重点事業 優先順位	重点事業の名称	今後の事業展開 必要性 ①目的達成	②ニーズ	③成果	④継続性	事業の方向性	事業手法 ①人件費減	②事務の必要性	③民間活用	④市民協働	⑤その他	手法の変更の有無	事業の改善提案 改善時期（年度）	改善の内容	予算の方向性
9	総	他機関との調整	国からの通知等に対応し連絡調整を行うと共に、湘南地区メディカルコントロール協議会との連絡調整を行う。	国県職員・湘南地区MC・病院	義務		救命課					519		国県他市との調整は円滑に事務を行っている。湘南地区MC及び市内救急病院にあっても調整や事業が円滑に行えた。	A				735		5	医療機関との連携事業					現状維持						なし			維持
9		他機関との調整					救命課	国、県、他市の各担当との救急救助業務に関する連絡調整	国・県からの調整等に対応した率	１００％	１００％					国、県、他市の各担当との救急救助業務に関する連絡調整	国・県からの調整等に対応した率	１００％										不可	必要	不可	不可	無	なし			予算なし
9		他機関との調整					救命課	湘南地区メディカルコントロール協議会、各病院との連絡調整	MC・各病院との調整会議等に対応した数	定期的及び随時開催される会議等の数	３２回		519			湘南地区メディカルコントロール協議会、各病院との連絡調整	MC・各病院との調整会議等に対応した数	定期的及び随時開催される会議等の数		521								不可	必要	不可	不可	無	なし			維持
9		他機関との調整					救命課	災害時における医療との連携体制の確立	市内救急病院との連絡調整会議実施	４回	４回					災害時における医療機関との連携体制の確立	市内救急病院との連絡調整会議実施/災害派遣医療チームの確立	会議３回/災害派遣年間１０回を想定		214	5	医療機関との連携事業						不可	必要	不可	不可	無	なし			維持
10	総	救急統計及び救助統計	救急・救助業務実施について、国、県、各病院との連絡調整を行うこととする。	国県職員・湘南地区MC・病院	義務		救命課							照会等に対し円滑に遅滞なく対応を行っている。	A											現状維持						なし			予算なし
10		救急統計及び救助統計					救命課	国、県、病院等への報告事務	照会等に対応した率	１００％	１００％					国、県、病院等への報告事務	照会等に対応した率	１００％										済	必要	不可	不可	無	なし			予算なし
701	総	市町村消防の広域化に関する検討	消防組織法の改正に伴い、国・県が推進する広域化について、対象自治体として広域化の課題と効果を検証する	職員・他市町職員	内部		救命課							対象自治体が広域化の課題と効果を検証することにより、今後成果が見込まれる。	A																					
701		市町村消防の広域化に関する研究会					救命課	研究会、専門部会における課題及び効果の検証	研究会での検討	各部会で年５回	５回																									
12	総	消防フェスティバルへの参加	消防業務や消防力の現況を広く市民に周知し、防火・防災意欲の啓発を図る。	市内在住市民	政策		救命課							市民ニーズが高まってきており、市民の積極的な参加者も増え、今後の成果が見込まれる。	A								未	高	高	高	現状維持						なし			予算なし
12		消防フェスティバルへの参加					救命課	心肺蘇生法、ＡＥＤの取扱いなどの展示説明	来場した体験者の数	１００人	１５０人					心肺蘇生法、ＡＥＤの取扱いなどの展示説明	来場した体験者の数	１００人										不可	必要	不可	不可	無	なし			予算なし
888	総	災害応急対策活動	本市域に、地震・津波等を伴う諸現象による同時多発的災害が発生した場合に、被害を軽減し、災害応急対策活動を迅速的確に対処する。	全市民等	義務		救命課																			現状維持						なし			予算なし
888		災害応急対策活動					救命課	茅ヶ崎市消防計画における課（班）の活動内容の検証及び見直し	茅ヶ崎市消防計画の検証及び見直し	随時						茅ヶ崎市地域防災計画に基づく課（班）の連携活動の運用及び検証	発生段階に応じて適切に対策を実施した割合	随時										不可	必要	不可	不可	無	なし			予算なし
888		災害応急対策活動					救命課	災害応急対策活動マニュアルに基づく課（班）の連携活動の運用及び検証	発生段階に応じて適切に対策を実施した割合	随時						災害応急対策活動マニュアルに基づく課（班）の連携活動の運用及び検証	発生段階に応じて適切に対策を実施した割合	随時										不可	必要	不可	不可	無	なし			予算なし
888	総	庁内共通事務			内部		救命課					200	200													現状維持						なし			予算なし